東日本大震災における液状化被害からの復旧・復興 及び都市再生土地区画整理事業 ~ 千葉県浦安市~

茨城県土木部都市局都市計画課 主事 額 賀 真 宏

平成26年1月31日に千葉県浦安市で行われた公益財団法人都市計画協会主催の平成25年度(第35回)まちづくり拝見研修会に参加しました。

■浦安の復旧・復興

浦安市は、千葉県の西部に位置し、東と南は東京湾に面し、西は旧江戸川を隔てて東京都江戸川区と相対し、北は市川市と隣接しています。市域の86%が埋め立て地であり、東日本大震災により、そのほぼ全域が液状化被害に見舞われました。

また、液状化被害戸数は全国で約27,000棟あり、この内約8,700棟(全体の約1/3)が浦安市に集中したことになります。

市では、住宅に被害を受けた世帯について、被災者生活 再建支援法に基づく支援金及び、千葉県被災者住宅対策支

援事業に基づく補助 金に市独自の補助金 (最大100万円)を上乗 せして支給する施策 を打ち出しました。さ らには、周辺地盤の沈 下によって敷地内イ



ンフラが寸断した分譲集合住宅に対してもインフラ復旧 に係る費用の1/3(3,000万円を限度)を独自に支援し、 被災者の一日も早い生活再建を支援しています。

◆復旧工事と復興交付金を活用した液状化対策



工事に併せて液状化対策工事が行われ, 災害に強い街を目 指す取り組みが進められています。

■堀江·猫実B地区土地区画整理事業

堀江・猫実元町中央地区は、市唯一の重点密集市街地であり、地域の一部には木造住宅が密集し、未接道の宅地や緊急車両の進入が困難な道路も多いなど、防災上問題が多



く,その改善のための計画が何度か提案されましたが,住民理解が得られず,まちづくり活動が停滞した時期もありました。その後,住民づくら協働によるまちなどし、協働により補安を関にがら,総合のとうながら,総合のとうながら,整備をでは,住環境の改善を図

り、「災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくる」、 「堀江と猫実を結ぶ主要な生活道路をつくる」ことを目的 として都市再生土地区画整理事業を活用し密集市街地の 整備を進めています。

◆整備の基本方針

地区の主要な生活道路整備と 合わせて,市有地を有効活用し 周辺地区の整備を行い,区画道 路の幅員4.5mを基本として,す



べての宅地が道路に接するような計画としています。

◆整備状況



護岸改修工事では,新中橋の 架け替え工事と併せて,千葉県 と連携しながら一体的なデザインの統一を図り,景観に配慮し た整備を行っています。

■終わりに

まちづくりを円滑に進めるためには、ワークショップ等により地域住民の意向を十分に反映し、地域に合わせた整備を行っていくことが重要であると感じました。